

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年7月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【実施計画の敷地境界線量評価方法の記載誤りについて】 現在、新設中の「2号機燃料取り出し設備(構台設置)」と申請中の「1号機燃料取り出し設備(大型カバー設置)」の、気体状放射性物質の放出による平常時の敷地境界線量評価方法(※)において、原子力規制庁へ申請中および認可を受けた「実施計画Ⅱ章」に記載した評価方法と、実際に使用した評価方法が異なっていることを確認。 なお、実際に使用した評価方法は、「実施計画Ⅲ章」に記載されているものであり、評価方法に問題はない。 原子力規制庁へ状況を説明済みであり、今後、「実施計画Ⅱ章」の評価方法の記載を見直し、修正予定。 今後、原因調査ならびに再発防止対策を検討する。</p> <p>※ 気体状放射性物質の放出による平常時の敷地境界線量評価方法:敷地境界線量が年間1mSvを越えないことを確認するために、①放射性雲による外部被ばく、②放射性物質の吸入摂取による内部被ばく、③地表面に沈着した放射性物質による外部被ばく、の3つの方法で評価している。</p>	GⅡ	6月29日
2	<p>【地下水バイパス設備作業終了後における協力企業作業員の体調不良発生について】 協力企業作業員が、地下水バイパス設備のフェーシング作業終了後に体調不良となり、救急医療室へ入室。 救急医療室にて、熱中症Ⅰと診断され、処置を受け退出。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	7月25日